

### ❖ 総会への参加申し込み方法

- ・同封のFAX用紙にて、7月25日(月)までに本部事務局宛にご送付ください。オンライン(Zoom)でご参加の方には、後日、参加用のURLをご連絡いたします。
- ・会場の全国町村会館第1会議室には、40名ほどの座席を用意していますので、会場でのご参加もお待ちしております。

### ❖ 第2部・総会記念講演について

- ・総会記念講演は、YouTubeでの配信を予定しております。会員外の方にもぜひお声がけください。ご希望の方に視聴URLをお知らせしますので、本部事務局までご連絡ください。

### 会場の地図・アクセス



〒100-0014  
東京都千代田区永田町1-11-35  
TEL 03-3581-0471(代表)  
FAX 03-3581-0220  
URL [www.plaza-f.or.jp](http://www.plaza-f.or.jp)

< 地下鉄でお越しの場合 >  
・有楽町線・半蔵門線・南北線  
「永田町駅」3番出口徒歩1分  
・丸の内線・銀座線  
「赤坂見附駅」徒歩8分

# 日本民主法律家協会

## 第61回定時総会のご案内

日時

2022年8月7日(日) 午後1時～5時00分

場所

オンライン(Zoom)参加  
および  
東京永田町 全国町村会館 第1会議室



日本民主法律家協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-14-4 AMビル2階  
TEL 03-5367-5430 FAX 03-5367-5431  
Mail [info@jdla.jp](mailto:info@jdla.jp)

## 第61回定時総会のご案内とご出席のお願い

新緑の美しい季節になりました。全国の会員のみなさまにおかれては、お元気で活躍中のことと存じます。

今年の通常国会では予算審議の中であるにもかかわらず憲法審査会の開催が強行され、明文改憲ありきの議論が続けられました。とりわけ、ロシアによるウクライナ侵攻を契機に、憲法9条では日本を守れないなどの言説が、自民、維新などの改憲勢力から盛んに強調されるようになりました。岸田政権は、軍事力増強、軍事予算倍加を公言し、敵基地攻撃能力の保有に向けた議論を進めています。政府は集団的自衛権の行使の際にも敵基地攻撃は可能とも答弁していますが、米国の始めた戦争を日本が積極支援することになり、極めて危険です。

こうした中で7月10日投開票の参議院選挙を迎えます。この参議院選挙は、軍事優先の国家づくりにストップをかけることができるか否か、東アジアの平和構築を図ることができるか否かがかかる重大な選挙です。日民協は、この選挙結果を踏まえて今後の方針を立てようと、総会日程を8月7日(日)に決めました。

総会当日は、これまでの活動を振り返るとともに、今後の運動方針について検討したいと考えております。また、記念講演は「戦争は止められる 改憲も止められる」と題して、理事長・新倉修が講師を務めます。この講演を踏まえて、どうしたらウクライナ戦争を終結させられるのか、改憲策動にどのようにストップをかけられるのか、そのために私たち法律家はどのような役割が期待されているのかについて、大いに討議を行いたいと考えております。

アベノミクスをはじめとする経済政策の失敗により物価高騰が続き、一方で労働者の実質賃金が減少するなど、市民生活の疲弊は極まっています。いま必要なのは経済の立て直しと外交力による平和の確保のはずであるのに、改憲勢力は市民生活には目もくれず、9条改変のたくらみを進めようとしています。

参院選で改憲勢力を3分の2未満に追い込み、明るい展望を語り合える定時総会を迎えましょう。皆様のご参加をお待ちしております。

会員 各位

日本民主法律家協会  
理事長 新倉 修  
事務局長 大山勇一

### ❖ 定時総会議事次第 ❖

午後1時00分～2時50分

#### 第1部 定時総会議事

- ◆ 定時総会の開催にあたって  
理事長 新倉 修
- ◆ 2021年度協会活動報告  
事務局長 大山勇一
- ◆ 各委員会報告
- ◆ 人事の提案
- ◆ 会計報告と予算
- ◆ 2022年度活動方針
- ◆ 質疑応答



午後3時00分～4時20分

#### 第2部 総会記念講演

### 戦争は止められる 改憲も止められる (仮題)

講師：新倉 修 日本民主法律家協会理事長



#### 講師の紹介

1949年生まれ。青山学院大学名誉教授。弁護士。日本国際法律家協会会長、国際民主法律家協会(IADL)事務局長を歴任。2020年8月から日本民主法律家協会理事長。専攻は、刑事法、フランス法、国際人権法。著書に『18・19歳非行少年は、厳罰化で立ち直れるか』(共編、現代人文社)、『民事陪審裁判が日本を変える 沖縄に民事陪審裁判があった時代からの考察』(共著、日本評論社)など。



午後4時25分～5時00分

#### 第3部 第18回「相磯まつ江記念・法民賞」受賞者発表